

アリュール横濱星川

Allure yokohama hoshikawa

No. 07-009-2011作成

新築
集合住宅

発注者	NREG東芝不動産株式会社	カテゴリー				
設計・監理	鴻池組東京本店一級建築士事務所	A. 環境配慮デザイン	B. 省エネ・省CO2技術	C. 各種制度活用	D. 評価技術/FB	
デザイン監修	株式会社宮川憲司建築事務所	E. リニューアル	F. 長寿命化	G. 建物基本性能確保	H. 生産・施工との連携	
施工	株式会社鴻池組 東京本店	I. 周辺・地域への配慮	J. 生物多様性	K. その他		

エコスタイルを目指した環境配慮型集合住宅

設計コンセプト

計画地の星川は、昔からゆったりとした街区が形成された街である。周辺には区役所などの官公庁が集中する地でありながら、帷子川の潤いや公園の緑の爽やかな風景も存在し、成熟した街へ生まれ変わった懐の深さがある。

そんなゆとりある街にふさわしい邸宅とするため、100戸規模にもかかわらず、オープンスペースの共用施設を多用した温かみのあるコミュニティ環境のレジデンスを計画した。

また、生活のなかでできる様々な環境配慮対策を採用し、快適に暮らしながらエコに貢献できる「環境に優しいエコスタイルな住まい」を目指した。



端正な外観



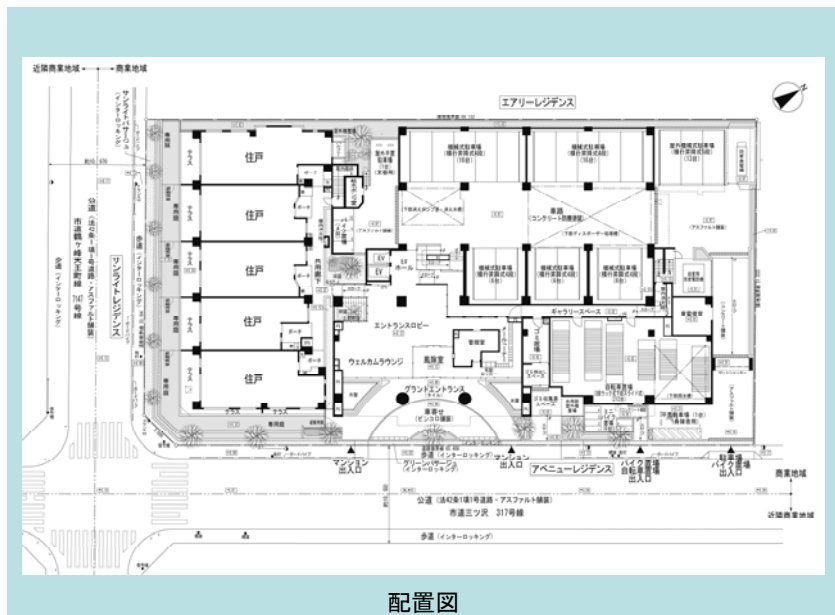
アプローチ



エントランスホール

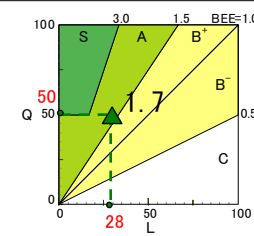
設計担当者

統括：川上剛／建築：北峰健一／構造：関谷英一／設備：林宜夫
デザイン監修：宮川憲司



配置図

建物データ	所在地	神奈川県横浜市	省エネルギー性能	LCCO ₂ 削減	25 %	CASBEE評価	Aランク
竣工年	竣工年	2012年(予定)	品確法省エネ対策	等級4	BEE=1.7	2009年度版自治体提出	
敷地面積	敷地面積	2,551㎡					
延床面積	延床面積	11,913㎡					
構造	構造	RC造					
階数	階数	地上10階					



オール電化

機能性と安全性と高い経済性も兼ね備えた次世代型のオール電化を採用。エコキュート、ヒートポンプ式床暖房の省エネ型給湯システムに加え、太陽光発電や電気自動車用充電設備も採用したフルスペック型オール電化マンションを実現している。

太陽光発電システム

太陽光電池（ソーラーパネル、10kW）は、バックコンタクト（裏面接続方式）の採用で太陽光を効率よく取り込み、発電を最大化させることでモジュール変換効率を高めている。発電された電力は主に共用部照明やコンセント負荷として利用される。発電電力の「見える化」として、発電量、日射強度などをエントランスのモニターにて表示を行い、居住者の関心を高めるように配慮している。

LED照明

住戸内のダウンライトや共用部（一部除く）に低消費で長寿命のLED照明を採用。

電気自動車用の充電アウトレット

敷地内に電気自動車用の充電アウトレットを設置。充電装置を機械駐車パレットに設置し、駐車している夜間等の時間を有効に利用して充電することが可能となっている。

高い断熱性

建物外部の環境に対して安定した室内温熱環境を実現するとともに、冷暖房効果を高め省エネルギーを実現するため、省エネ対策等級4の断熱仕様としている。

ディスプレイ

住戸で生ごみ処理を行うことで、ごみの排出量を低減し、環境への配慮を図っている。

躯体のPC化による施工の合理化

スラブにはハーフPCa板を採用し、バルコニー先端部を工場塗装することでシャープな表現が可能となり、デザインと躯体品質向上の両立を図った。これは型枠工事での木材使用量を低減することにも繋がっている。

屋上緑化

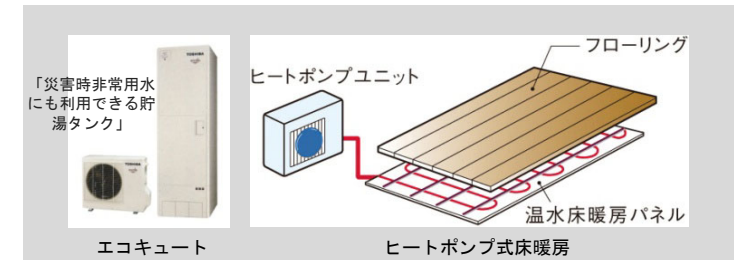
2層吹き抜けのCOMMONスペースには屋上緑化を採用し、憩いの場を演出している。

主要な採用技術（CASBEE準拠）

- Q2. 2. 耐用性・信頼性（品確法躯体劣化対策等級3：水セメント比50%以下）
- LR1. 1. 建物の熱負荷抑制（品確法省エネ対策等級4：次世代省エネ基準による断熱設計、複層ガラス）
- LR1. 2. 自然エネルギー利用（太陽光発電）
- LR1. 3. 設備システムの高効率化（オール電化、エコキュート、LED照明）
- LR2. 2. 非再生性資源の使用量削減（躯体のPC化）
- LR3. 2. 地域環境への配慮（屋上緑化、ディスプレイ）



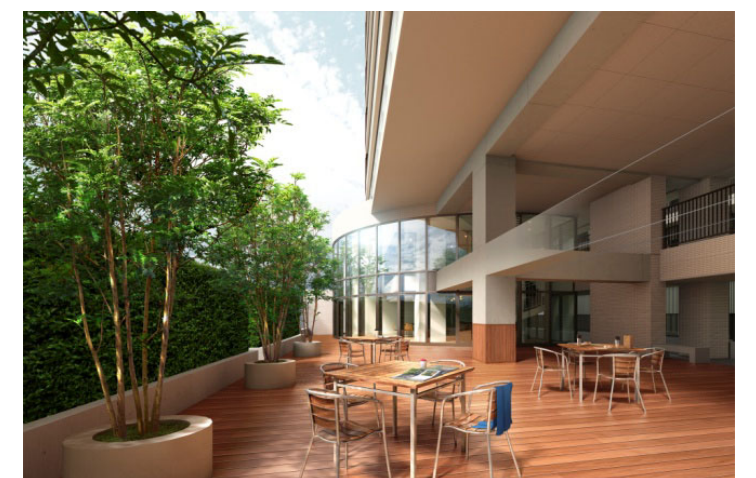
住戸



省エネ型給湯システム



太陽光発電システムの概念図



屋上緑化されたCOMMONスペース